



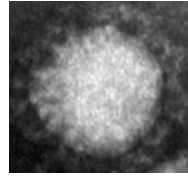
# 健康かわらばん

## 第100号 (令和4年11月号)

### 特集:新型コロナウイルス感染症 (その4)

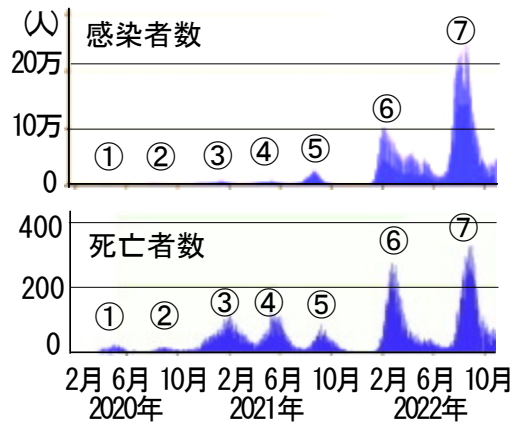
#### 1. 新型コロナウイルス感染症の推移

2019年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、全世界にパンデミックを引き起こし、多数の死者をもたらしました。当初の株からアルファ株（日本の第4波）・デルタ株（同第5波）に変異を繰り返す度に強毒性になり、高齢者のみならず中年層でも重症のウイルス性肺炎を起こし、医療崩壊の事態となりました。今年から流行するようになったオミクロン株は従来株の数倍感染力が強く、桁違いの感染者数を記録しましたが（第6-7波）、従来のインフルエンザや風邪に近い症状で、ウイルス性肺炎の頻度が少ないため、重症化しにくい傾向があります。ただし、高齢者では持病の悪化や誤嚥性肺炎を起こしやすく、死亡者の絶対数は従来株以上です。第7波も収束傾向でしたが、11月初旬現在、また感染者数は増加に転じております。



新型コロナウイルス→パンデミック

国内の感染者数と死亡者数の推移



第5波では治療法の進歩で死亡率が低下第6-7波では死亡率はさらに低下も、感染者数が多すぎ死亡者数は増加

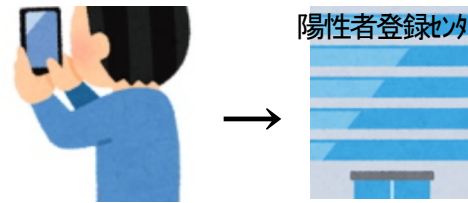


オミクロン株の症状は熱・咳・のど痛・鼻水など従来の風邪と同様で、呼吸困難、味覚・嗅覚異常は減りました



医療機関で届け出をするのは、65歳以上、現在中等症以上か今後重症化の可能性の高い人、妊婦さんのみ

上記以外の人や自分で抗原キットで陽性を確認した人はwebか電話で「陽性者登録センター」に自己登録します



感染者の自宅療養期間

0日目	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日目
発症日								療養解除
検体採取日								療養解除

療養解除は症状が軽快し24時間以上経過が条件。無症状者は検体採取日が0日目。解除後も感染対策を徹底のこと。

濃厚接触者の自宅待機期間

0日目	1日	2日	3日	4日	5日	6日目
最終接触日						待期解除

#### 2. 感染者・濃厚接触者の対応

オミクロン株になってから呼吸困難のない軽症者は原則自宅療養になりました。医療機関を受診した場合でも65歳以上・診察時中等症以上（呼吸困難有り）・重篤な基礎疾患のある人・妊婦さん以外の方は自分で「陽性者登録センター」に登録することになりました。登録後にもし体調が悪化したときには「健康フォローアップセンター」に連絡し、必要な場合には入院や施設入所、配食の相談も出来ます。自分で抗原検査キットで陽性を確認した人も、医療機関を通さずに「陽性者登録センター」に登録することで「健康フォローアップセンター」への連絡が可能になります。感染者の原則7日間、濃厚接触者の5日間の自宅待機は従来そのままです。感染した人は7日が過ぎても、他人に感染させる可能性が0ではありませんので、職場復帰時は感染対策を徹底して下さい。

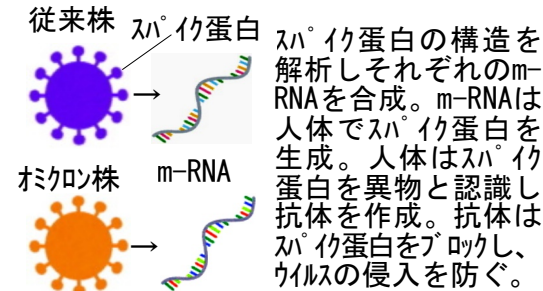
### 3. ワクチン接種の方針

当初は60歳以上と基礎疾患のある人のみに4回目接種の予定でしたが、感染がなかなか収束しないため、医療関係者と高齢者施設等の従業員も追加になりました。その後、オミクロン株対応の2価ワクチンを12歳以上の全員に接種する方針に変更になり、前回接種から3カ月以上経過すると接種可能になります。（オミクロン株非対応の4回目接種を受けた人は、さらに5回目接種を受けることになります。）オミクロン株対応ワクチンも、当初流行したBA.1対応から最近流行したBA.4-5対応に11月から切り替わります。5歳～11歳の小児に関しては従来のワクチンの3回目接種を努力義務として接種中です（未接種の場合は1-2回目接種も受け付けております）。新たに6カ月から4歳用のワクチンも承認され、今後希望者に接種予定です（3回接種で1セットです）。



オミクロン株対応ワクチンを12歳以上に接種中

#### オミクロン株対応2価ワクチン



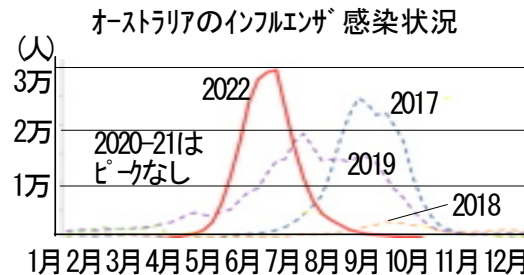
5-11歳3回目接種中 0-4歳用ワクチン承認



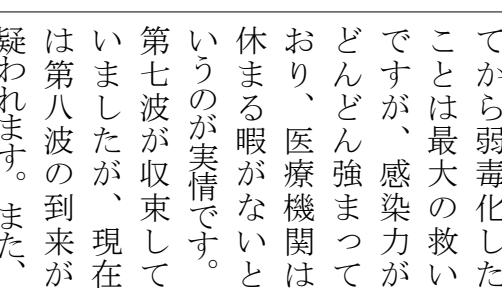
経口薬の重症化予防薬は2種類が承認されている。ただし、重症化の危険が高い人だけに投与可能。



ラゲブリオ パキロビッドパック



冬期の発熱時は、コロナかインフルエンザかの判断が困難。コロナとインフルエンザ抗原を同時に検査できるキットもあり。



### 4. 経口重症化予防薬

重症化予防に「ラゲブリオ」と「パキロビッドパック」の2種類の経口薬が承認されています。パキロビッドパックの方が効果は高いのですが、併用できない薬が非常に多く、流通が少なく国に申請して取り寄せる必要が有ります。ラゲブリオの方は一般流通しておりますが、いずれの薬も重症化の危険が高い人だけに投与することになっています。国産の経口薬も治験中ですが、未だ承認には至っておりません。

### 5. インフルエンザとの同時流行の懸念

今年南半球のオーストラリアで2年ぶりにインフルエンザの流行がありました。海外との交流規制も緩和しており、今年日本でもインフルエンザの流行が危惧されております。同時期にコロナの感染が沈静化していない場合には、発熱時にどちらの感染か分かりにくくなる可能性があります。

洗いの徹底です。換気の徹底です。密の回避・十分な換気、マスク・手洗いの徹底です。

新型コロナウイルス感染症が発生してから間もなく、三年になりました。当初はこれほど長期の戦いになると想像もしていませんでした。オミクロン株に変異してから弱毒化したことは最大の救いですが、感染力がどんどん強まっており、医療機関は休まる暇がないというのが実情です。第七波が収束していましたが、現在は第八波の到来が疑われます。また、今冬はインフルエンザとの同時流行の可能性が高いと言われています。高齢者はコロナの方が重症化リスクが高いのですが、乳幼児はインフルエンザの方が重症化しやすい、より注意が必要です。今出来ることは、コロナとインフルエンザのワクチン接種をしっかりと受けることです。インフルエンザの予防法はコロナ対策と全く同じで、三密の回避・十分な換気、マスク・手洗いの徹底です。

**あとがき**

新型コロナウイルス感染症が発生してから間もなく、三年になりました。当初はこれほど長期の戦いになると想像もしていませんでした。オミクロン株に変異してから弱毒化したことは最大の救いですが、感染力がどんどん強まっており、医療機関は休まる暇がないというのが実情です。第七波が収束していましたが、現在は第八波の到来が疑われます。また、今冬はインフルエンザとの同時流行の可能性が高いと言われています。高齢者はコロナの方が重症化リスクが高いのですが、乳幼児はインフルエンザの方が重症化しやすい、より注意が必要です。今出来ることは、コロナとインフルエンザのワクチン接種をしっかりと受けることです。インフルエンザの予防法はコロナ対策と全く同じで、三密の回避・十分な換気、マスク・手洗いの徹底です。